

令和5年度活動報告

年 月 日	事 項
令和5年	
7月	
19日	インボイス相談(山川公認会計士)(公嘱協会事務所) 出席:常松副理事長
25日	第1回正副理事長会(公嘱協会事務所) 令和4年度決算監査会(公嘱協会事務所) 第1回監事会(公嘱協会事務所)
28日	インボイス相談(出雲税務署法人課税第一部門)(出雲税務署相談室) 出席:常松副理事長
8月	
4日	第1回理事会(web会議)
〃	第1回地区長会(web会議)
8日	中公連 理事長会議(web会議) 出席:門協理事長、常松副理事長、曾田副理事長
9月	
1日	第12回定時社員総会(くにびきメッセ501大会議室)
〃	第1回役員選考委員会(くにびきメッセ402会議室)
〃	第2回理事会(くにびきメッセ402会議室)
22日	中公連 第35回通常総会(シーモールパレス「ルビーの間」) 出席:門協理事長、常松副理事長、曾田副理事長、山田副理事長
10月	
16日	第2回正副理事長会(web会議)
18日	第3回理事会(web会議)
〃	第1回役員研修会(web会議)
11月	
7日	島根県総務部総務課立入検査(公嘱協会事務所) 出席:門協理事長、常松副理事長、山田副理事長、曾田副理事長 長島根県:総務部総務課 桑田係長、今本主任主事
13~14日	全公連 令和5年度第2回研修会(メトロポリタンエドモント2階「悠久」) 出席:門協理事長、山田副理事長
21日	第1回総務部会・第1回経理部会(合同開催)(web会議)
〃	第1回業務部会(web会議)
28日	中公連 第2回理事長会議(web会議) 出席:門協理事長
12月	
5日	土地家屋調査士会・政治連盟・公嘱協会との連絡協議会(web会議)
8日	第2回業務部会(web会議)

令和5年度活動報告

年 月 日	事 項
令和6年	
1月	
2月	
8日	第3回業務部会(テクノアークしまね南館会議室4)
13~14日	全公連 令和5年度全国理事長会議(ホテルメトロポリタンエドモント「万里」) 出席:門脇理事長
19日	第3回正副理事長会(公嘱協会事務所)
〃	令和5年度中間監査会(公嘱協会事務所)
22日	中公連 研修会(広島県土地家屋調査士会館4階会議室) 出席:門脇理事長、山田副理事長
3月	
8日	第4回理事会(web会議)
22日	第4回業務部会(web会議)
4月	
2日	島根県総務部公益法人係相談(島根県総務課情報公開室談話室) 出席:常松副理事長
16日	令和5年度第1回業務研修会(テクノアークしまね中会議室)
25日	第4回正副理事長会(web会議)
5月	
16日	中公連 理事長会議(ホテルグランヴィア広島「ロビーラウンジ」) 出席:門脇理事長
〃	広島協会(中公連協賛) 研修会(ホテルグランヴィア広島「悠久の間」) 出席:門脇理事長、山田副理事長、直江理事
28日	第5回正副理事長会(web会議)
6月	
5日	全公連 寶金敏明先生を偲ぶ会(ホテルメトロポリタンエドモント「万里」「悠久」) 出席:門脇理事長
6日	全公連 第39回定時総会(ホテルメトロポリタンエドモント「悠久」) 出席:門脇理事長
7日	全公連 第1回研修会(ホテルメトロポリタンエドモント「悠久」) 出席:門脇理事長(会場)、常松副理事長(web)
12日	第5回理事会(web会議)

令和5年度事業報告

自 令和5年7月 1日
至 令和6年6月30日

<総括>

令和5年度の売り上げは、1億3700万円になり、前年比およそ1000万円減となりました。

官公署宛の見積書の提出は、堅調に推移しており、当初予算を達成するために、引続き官公署に対しての働きかけを行なって参ります。

全国の流れとして、切迫する大規模地震災害、相次ぐ気象災害、火山災害、インフラ老朽化等の国家の危機に打ち勝ち、国民の生命・財産・暮らしを守り、社会の重要な機能を維持するため、「国土強靱化基本計画」を推し進めるとあり、中でも「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」として、国土強靱化施策を計画的に実行することが急務であると云われています。

更に現在、民法の一部改正により相続登記の義務化、相続土地国庫帰属法の創設、所有者不明土地関連法、土地基本法の一部改正による土地所有者の責務の規定等、国民生活に直結する法改正や法整備がなされています。これらの国の施策は、土地家屋調査士業界にとっては大きな追い風になるとともに、このチャンスを掴み取ることが重要です。

また、日本土地家屋調査士会連合会による調査士報酬に係る歩掛が改定されました。今まで20年来報酬規程の見直しがなされないまま運用されていた作業歩掛が、登記行政のデジタル化の推進によるオンライン申請等の登記手続が進む中で、実態に沿った報酬基準としての作業歩掛の提示となっており、公共嘱託登記手続においても官公署が運用する報酬額規定の見直しも検討すべきであるとの方向性を示しました。

地方においても、我々がこの資格をどのように有効に活用し、官公署にどのように働きかけるかを我々自らの意思を明確に示す時期が来ていると感じています。

そのためには、「筆界論に基づいた境界についての考え方」を徹底し、明確な意思表示をするべき時期が来ています。

また、昨年末には中国地方整備局に土地家屋調査士会及び土地家屋調査士政治連盟、並びに公共嘱託登記協会の中国ブロック3会で足を運び、まずは土地家屋調査士業務の適正化を要望いたしましたところ、概ね良好な回答を得たところです。

そして、引き続き他協会が先行して行っているGISを使った地図管理システム構築、狹隘道路解消のための事業など積極的に提案していく考えです。

コロナウイルスより激変した社会の中、私たち土地家屋調査士も私たち自らの変化を恐れず、他方、法に寄り添い、知恵と英知により、自らの立場を確立し、前進しなければなりません。今がそのチャンスであると考えています。

総務部

- ① 協会の現状に即した諸規則
 - ・ 諸規定の改廃
 1. 旅費日当支払規程の一部改訂
 2. 職員給与規定の一部改訂
 3. 公益目的事業推進準備資金運用規定の廃止
 4. 財政調整基金運用規定の新設
- ② ホームページの保守管理及び活用
 - ・ 社員への情報提供をホームページで一元化する → 実施中
 - ・ 協会の運営への理解を図るため、理事会報告書の発信 → 実施中
- ③ インターネットを用いた情報管理及び利活用の研究
 - ・ クラウド等を用いた協会内部ファイルのバックアップ体制の確立
会計 Data はクラウドにバックアップ済み
他 Data はバックアップシステムへの効率的な運用を模索中
- ④ インボイス制度実施に伴う社員への対応方法の検討
 - ・ 社員への支払通知書の確立 → 確立済
 - ・ インボイス会計処理の検討 → 都度公認会計士と協議
 - ・ 特例措置終了後の社員への消費税課税業者・消費税負担について検討
- ⑤ 各部の事業に協働し、協会業務の円滑な推進を図る
 - ・ 実施中

業務部

- ① 研修会の実施
 - ・ 業務処理規則についての社員向け研修を行った
- ② 官公署からの受注促進
 - ・ 見積り依頼、業務打合せの折には、単価契約の依頼を行った
- ③ 地図作成の推進
 - ・ 地図作成事業（西津田第2地区）の2年目（立会、一筆地測量）作業中

経理部

- ① 公益法人の法令、公益法人会計基準を遵守し、公認会計士の指導のもと会計処理を行った
- ② 収支相償となるよう会計処理を行ったが、単年度では赤字となった
- ③ インボイス制度開始にあたり、社員への啓発、お願いを行った
- ④ 財政調整基金（旧公益目的事業推進準備資金）を適切に管理した

令和5年度会議状況

定 時 社 員 総 会	1
役 員 選 考 委 員 会	1
理 事 会	5
正 副 理 事 長 会	5
監 査 会	2
監 事 会	1
役 員 研 修 会	1
業 務 研 修 会	1
地 区 長 会	1
総 務 部 会	1
経 理 部 会	1
業 務 部 会	4
土地家屋調査士会・政治連盟・公嘱協会 との連絡協議会	1
全 公 連 定 時 総 会	1
全 公 連 全 国 理 事 長 会 議	1
全 公 連 研 修 会	2
全 公 連 寶 金 敏 明 先 生 を 偲 ぶ 会	1
中 公 連 通 常 総 会	1
中 公 連 理 事 長 会 議	3
中 公 連 研 修 会	2
島 根 県 立 入 検 査	1
島 根 県 総 務 部 公 益 法 人 係 相 談	1
イ ン ボ イ ス 相 談	2